

第61回サイエンスカフェ

2012.3.16 (金)

18:30—20:30

地層から再現する 過去の巨大津波と今後の課題

コーディネーター

室伏きみ子さん

お茶の水女子大学教授

ゲスト

岡村行信さん

(独)産業技術総合研究所
活断層・地震研究センター

宮城県沿岸で実施した津波堆積物の調査・研究に基づいて、平安時代の記録に残る貞観の津波は、当時の海岸線から3-4km以上内陸まで浸水し、同様の津波は約450-800年程度の間隔で発生してきたことを解明した。

さらに、地震マグニチュードは8.4以上と推定したが、東北地方太平洋沖地震のマグニチュードは9であった。このような成果がなぜ活かせなかったのか、なぜ予測が小さかったのか、さらに東北地方太平洋沖地震後に形成された津波堆積物からどのような教訓が得られたのかを解説する。

会場: サロン・ド・FUZAMBO Folio

千代田区神田神保町1-3 富山房ビルB1

Tel: 03-3291-5153 E-mail: folio@fuzambo-intl.com

参加費: 1名1,000円(1ドリンク、デザート付)

主催: 日本学術会議・富山房インターナショナル